

様式第 3 号

## 会 議 録

会 議 名 (付属機関等名)		川西市参画と協働のまちづくり推進会議 令和元年度第 3 回 B 部会		
事 務 局 (担当課)		総合政策部 参画協働課		
開 催 日 時		令和元年 10 月 8 日(火) 午後 6 時半から午後 8 時 15 分		
開 催 場 所		川西市役所 7 階 大会議室		
出 席 者	委 員	横谷弘務、釜本孝彦、延命寺陽子、相良雅江、田中真優、中村佳子、堀田大樹、山澤剛、吉尾豊		
	そ の 他			
	事 務 局	参画協働課長、同課長補佐、同課主任 1 名		
傍聴の可否		可	傍聴者数	1 人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由				
会 議 次 第		1 開 会 2 議 事 B 部会のテーマ 「(地域・市民活動に対して、)やる気や興味・関心が薄い方を巻き込んでいくには」 3 閉 会		

18:30～

## 1 開 会

## 2 議 事

B 部会のテーマ

「(地域・市民活動に対して、)やる気や興味・関心が薄い方を巻き込んでいくには」

### ○ 釜本委員作成の「行動指針」(案)について説明

- ・ 12月の全体会で、部会としての意見発表をできるためのたたき台を作成
- ・ 7つの大項目を設定し、それぞれに中項目、小項目(取組のヒント)を記載
- ・ 地域活動に重きを置いた指針になっている。別に、市民活動用を作成してもよいのではと考えている。
- ・ 各委員から出たアイデア(突拍子のないもの含む。)をもとに、どんどん議論を深め、バージョンアップ深めてはどうか。

(委員から出た意見)

- ・ 「広報」+「子育て」など組み合わせではどうか。

希望かどうかはわからないが、将来コミュニティに関わってくれればと思い、今後、積極的に受け入れていきたい。他校はわからないが、東谷中学校は積極的に取り入れたと聞いた。

- ・ 10代、20代、30代…のように、世代別の視点でまとめてはどうか。
- ・ コミュニティ、自治会のメリットがわからない。
- ・ イベントを行う際の具体的な提案を盛り込むというよりも、どのように人が集まる仕組みを作るか(高齢者の観点、こどもの観点、様々な世代を巻き込む観点など)のフックとなる内容はどうか。
- ・ 各自治会は1年ごとに役員が交代しており、引継ぎがうまくいっていないのでは。取組の方法を記した「取扱説明書」に類するものを作成してはどうか。

- ・ 我がコミュニティ協議会では、ホームページを開設し、各種団体やグループが交流を図っている。
- ・ 自治会加入促進は永遠のテーマであり、一朝一夕で解決するテーマではない。市にリーダーシップを発揮頂き、議論を進めてもらいたい。
- ・ 自分事として、 どうすれば地域活動に参加したいか。 どういう内容ならやる気を持って参加したくなるのか、委員の考えを知りたい。

### ○ その他

- ・ 今年度、議論をまとめ、成果物(見せ方含む)を出していく必要があるが、このスピードでは追い付かないことに危機感を覚えている。今回のたたき台をもとに、各委員が宿題で持ち帰り、次回の部会でしっかりと議論を深めてはどうか。まずは何よりも形にすることが大切である。
- ・ 本来、審議会では会長(部会長)から許可を得た者だけが、発言ができる。このように自由に発言となると、会がまとまらないのでは。

(次回に向けて)

- ・ 行動指針(案)をもとに、各委員の興味ある・深めたいテーマに関して、ヒントを書き出す。  
1週間前の11月11日ごろをめどに、事務局に提出。
- ・ 効率的にすべての委員が発言できるよう、1人の発言時間は1回につき1分とするなどの工夫をとる。また議論を深めるため、ワークショップ形式も取り入れていく。

### 3 閉会